

ふれあい診療所健診センター（松江生協病院） における2008年度乳癌検診結果

ます 益	なが 永	れい 礼	こ ¹⁾ 子	まつ 松	うら 浦	みえこ ¹⁾ 美枝子	み 三	かみ 上	し 志	の ¹⁾ 野	
とう 東	ぎ 儀	きみ 公	あき ¹⁾ 哲	おお 大	ぼやし 林	のり 紀	こ ²⁾ 子	きく 菊	かわ 川	じゅん 淳	こ ²⁾ 子
おか 岡		かず 一	ひこ ²⁾ 彦	ひ 樋	の 野	しん 伸	いち ²⁾ 一	かわ 河	すみ 角	くみ 久美子	こ ²⁾ 子
やま 山	もと 本	よし 佳	お ²⁾ 生	さ 佐	とう 藤	たかし ²⁾ 崇	やま 山	ぐち 口	え 恵	み ²⁾ 実	
なか 中	しま 島	ゆう 裕	いち ²⁾ 一	たちばな 橘		まるみ ²⁾ 球	まき 槇	の 野	よし 好	なり ²⁾ 成	
うち 内	だ 田	まさ 正	あき ²⁾ 昭								

キーワード：乳癌検診，マンモグラフィー検診，乳腺超音波検診

要 旨

2008年度乳癌検診結果について報告した。受診者全体の75%が職域検診であり，86%が59才以下の比較的若年者だった。検査モダリティーは視触診とマンモグラフィーの組み合わせが最も多く6割を占めた。全受診者2,311名，要精査375名（16.2%），発見癌8例（0.4%）であった。発見癌8例中7例が早期癌であった。MMG単独での要精査率は14.5%，癌発見率は0.3%であった。US単独での要精査率は11.7%，癌発見率は0.3%であった。MMG異常があってもUS併用検診で明らかな良性所見と合致する場合，54%が精査不要と判定できた。比較的若年者の受診が多い当施設では，不要な精査や見落としを減らすためにMMG，US併用検診を積極的に勧めて良いと考えた。検診に関わる医師，技師のディスカッションや緊密な連携が今後さらに重要になると思われた。

はじめに

乳癌患者の増加や検診啓蒙活動の結果，全国的に乳癌検診受診者が増加している。当施設におけ

る2008年度の乳癌検診結果を報告する。

2008年度当健診センターでの乳癌検診概要

視触診，マンモグラフィー（MMG），乳腺超音波（US）の組み合わせ，または単独で施行した。分離併用検診であり，視触診は医師，MMG読影（後日）は医師，USは臨床検査技師がそれ

Reiko MASUNAGA et al.

1) ふれあい診療所健診センター 2) 松江生協病院
連絡先：〒690-0017 松江市西津田7-14-21